

「糰谷八幡神社と西勝院黒門」 歴史探訪

野老澤の歴史をたのしむ会（担当Aグループ）

2023-6-11 報告者 山田 武

- ◇ 開催日 2023年6月8日（木） 天候 晴れ時々曇り
集合：午前9時 小手指駅南口階段下
解散：午後12時30分 入間市宮寺の西武バス停留所
- ◇ 行 程 西武バスに乗車⇒糰谷で下車⇒八幡湿地、八幡神社⇒さいたま緑の森博物館⇒西勝院の黒門⇒史跡宮寺館跡⇒宮寺バス停
- ◇ 参加者 21名
- ◇ 配布資料 出発時：緑の森博物館パンフレット（地図付き）
八幡神社にて：糰谷八幡宮略記
- ◇ 現地解説 三ヶ島地区に精通している佐藤八郎氏（Cグループ）にお願いしました。
- ◇ 参加者一同の集合写真（八幡神社にて） 撮影大舘徹氏



- ◇ 糰谷八幡神社（所沢市糰谷）
鳥居をくぐって階段を上がると紫陽花などを浮かべた「花手水」があり、手をお清め

して拝殿に上がり、当神社第三十四代の
中宮司さんからお祓いを受けた後、
御由緒等をお聞きしました。

この拝殿は、平成30年（2018
年）に天皇陛下御在位三十年記念事業
として再建されました。名のある宮大
工の手により釘を一本も使わず、ヒノ
キを組んで造られた伝統建築です。

奥のご本殿入り口の左右に並ぶ狛犬
は、熊本城の楠で作られたもので緑青
のような色が出ており埼玉県内唯一の
ものです。

「修験」のお話も伺いました。江戸時
代以前は神仏習合で、厳しい修行を重
ねた修験者が加持祈禱で病気を治すこ
とも行われていたようです。歴史は本
当に奥深いと感じました。

当社の御朱印は月毎に絵柄が変わ
り、一体一体岩絵の具で描く限定のも
ので人気があるとのことでした。

神社に隣接する八幡湿地は、地元ボラン
ティアが保存に努め、小学生がコメ作
り体験をしている田んぼもあり、そろ
そろホタルが飛ぶそうです。



◇さいたま緑の森博物館（入間市宮寺）



緑深い遊歩道を 30 分程歩くと、さいたま
緑の森博物館の案内所に着きました。説明を
聴いて知りましたが、博物館とは建物ではな
く狭山丘陵の雑木林や湿地、動植物の生き物
など自然そのものが展示物なのだそうです。

宅地開発などでの自然破壊を防ぐため、敷
地全体を三つのゾーンに分けて保全管理を
行っています。

丁度、ヒメザゼンソウが咲いているとのこ
とで、その生態の説明をお聞きし、現地に案
内して頂きました。見られるのは通路沿い
にある2～3株のみで、思っていた以上に小
さくてカメラに収めるのに難儀し、無理を言
って説明の際に見せて頂いた写真を送って頂
きました。

◇西勝院（入間市宮寺）

真言宗豊山派の寺院で、狭山三十三観音霊場の29番札所になっています。

当会の3月例会「江戸時代所沢の医療につくした人びと」で学んだ三ヶ島流眼科医師鈴木一貫の流れをくむ「大明堂黒門（たいみんどうくろもん）」が当寺の山門として移設されています。ただし、現地には「黒門」に関する説明看板等は一切ないのが極めて残念に思います。

寺の敷地内には宮寺領主の居館の土塁と空堀、また山門手前左側土塁の痕跡は明らかに当時の遺構の一部です。さらに西側を流れる溝が館の堀であったと推測され、この溝は西勝院の境内を囲むように西側から北側に及んでいます。



◇「史跡宮寺館跡」（看板のみ）

